

映画『谷中暮色』の船橋淳監督トークイベント 9/26(日)17:00～
+ 期間限定オンライン上映会のお知らせ

谷中路地研究会 主催

谷中を描いた映画『谷中暮色 Deep in the Valley』をもとに、
この映画の監督である船橋淳さんをお招きして、
谷中というまちの記憶と魅力についてさまざまに語り合います。

- 日時：2021年9月26日(日)17時～18時30分
- 場所：オンライン (zoom ミーティング方式)
- 参加費：1,656円 (事前の映画視聴費用)
26日のイベント参加は無料

参加方法：

(1) まずは事前に、以下のところで映画を視聴します。

動画ストリーミング配信で、視聴には ¥1,656- の費用がかかります。

クレジットカードまたはペイパルによるオンライン決済が必要です。

購入して24時間以内に視聴ください。

<https://vimeo.com/ondemand/deepinthevalley>

(2) 9月26日(日)当日に、オンラインイベントに参加します。

参加用 URL は、このページより参加申し込みをいただきますと届きます。

<https://yanakaroji20210926.peatix.com>

■ 主催：谷中路地研究会

■ 問い合わせ：

谷中路地研究会 代表 西川直子

nishikawa@kj-web.or.jp 【谷中の家】台東区谷中 3-17-11

事務局：白田信重 nohakuta@yahoo.co.jp

映画『谷中暮色 Deep in the Valley』

解説・あらすじ

第59回ベルリン国際映画祭に正式出品され、話題を呼んだセミドキュメンタリー。現代と江戸を往復するフィクションと、1957年に消失した谷中五重塔を題材にしたドキュメ

ンタリーが一体となって展開していく。監督は前作『ビッグ・リバー』もベルリン映画祭で高い評価を受けた船橋淳。寺の住職、墓守、江戸大工、郷土史家ら、地元の人々が語る五重塔の記憶と、五重塔というシンボルを失った町の喪失感に、独特のタッチで迫る映像詩が見どころ。

東京の下町、谷中で古いホームムービーの保存活動をしているかおり（佐藤麻優）は、1957年に焼失した谷中五重塔の炎上を記録した8ミリフィルムの存在を知る。霊園の墓守、伝統工芸の職人、郷土史家ら、さまざまな人に取材を試みながら幻のフィルムを追う中、かおりは地元の青年・久喜（野村勇貴）と出会い、恋に落ちるが……。

船橋淳 映画監督

1974年、大阪府に生まれる。東京大学教養学部表象文化論分科を卒業したのち、ニューヨークのスクール・オブ・ビジュアルアーツで映画を学ぶ。ニューヨーク在住時代に遭遇したアメリカ同時多発テロ事件をきっかけにドキュメンタリーの撮影を始める。

2005年、オダギリジョーを主演に迎えた映画『ビッグ・リバー』を公開。2009年、映画『谷中暮色』を手がける。2012年、白田あさ美主演の『桜並木の満開の下に』が公開。2012年、東日本大震災における福島第一原発の事故により、町全体が丸ごと移住した福島県双葉町の9ヵ月間に密着したドキュメンタリー映画『フタバから遠く離れて』を監督。2014年には『フタバから遠く離れて 第二部』も監督した。

その他の監督作品として、大阪の女性アイドルグループを追ったドキュメンタリー『道頓堀よ、泣かせてくれ！ DOCUMENTARY of NMB48』（2015）、18世紀のポルトガル大震災と五輪後の日本が交錯する『ポルトの恋人たち ～時の記憶』（2017）、実在のセクハラ事件をもとにした『ある職場』（2020）がある。

■ Deep in the Valley 谷中暮色 - official home page （予告編あり）

<http://www.deepinthevalley.net>

谷中路地研究会 主催

なお、この映画に登場する郷土史家・加藤勝丕（かとうかつひろ）さん（次ページ以降のチラシ画像のなかで、谷中五重塔跡地で車椅子に座って写っている方）は、しのばず自然観察会などが20世紀末に行った谷根千井戸調査の際、以前の調査からわかった井戸の所在地資料を提供してくださった方です。谷中や上野公園の古史料の情報をたびたび教えていただきました。（しのばず自然観察会 小川潔）



想いは、めぐる。

谷中路地研究会

船橋淳監督作品

谷中暮色

やなかぼしよく

監督トークイベント

2021年9月26日(日)
17時～18時30分
オンライン開催

谷中を描いた映画『谷中暮色 Deep in the Valley』をもとに、この映画の監督である船橋淳さんをお招きして、谷中というまちの記憶と魅力についてさまざまに語り合います。

- 日時：2021年9月26日(日) 17時～18時30分
- 場所：オンライン (zoomミーティング方式)
- 参加費：1,656円 (事前の映画視聴費用)
イベント参加無料

参加方法：

- (1) まずは事前に、以下の動画ストリーミング配信で映画を視聴します。
視聴に ¥ 1,656- の費用がかかります。購入して24時間以内に視聴ください。
<https://vimeo.com/ondemand/deepinthevalley>
- (2) 9月26日(日) 当日に、オンラインイベントに参加します。
以下のイベントページにて参加申し込みをすると
参加用URLがお手元に届きます。
<https://yanakaroji20210926.peatix.com>

- 主催：谷中路地研究会
- 問い合わせ：
谷中路地研究会 代表 西川直子 090-9492-0075
【谷中の家】台東区谷中3-17-11 nishikawa@kj-web.or.jp

Deep in the Valley 2009年第59回ベルリン国際映画祭正式出品

脚本・監督・編集：船橋淳 (『Echoes エコーズ』『ビッグ・リバー』) / 共同脚本：根岸彰子 / 撮影：水口智之 / 照明：関野久 / 音楽：ヤニック・ダジンスキー
出演：野村勇貴、佐藤麻優、加藤勝平、小川三代子 / 製作：ENBU ゼミナール、Big River Films 2009年/日本/120分/HD/パートカラー/1:1.77

燃えた五重塔を私は知らない...

心に迫る作品。日本版8ミリ「ニュー・シネマ・パラダイス」だ
ハリウッド・レポーター誌(アメリカ)

世代間の対立と矛盾を見事に相対化した作品
クリストフ・テルヘヒテ(ベルリン国際映画祭ディレクター)

谷中暮色

船橋淳監督作品
やなかぼしよく

Deep in the Valley

若者たちの恋物語と幸田露伴『五重塔』の世界が融合したドキュ・フィクション下町の記憶がここにある

舞台は東京下町の谷中。古いホームムービーの保存・修復活動をしているかおりは、昭和32年に焼失した谷中五重塔とその姿を記録した8ミリフィルムを知る。寺院、霊園の墓守、伝統工芸の職人、郷土史家に取材を試みながら、ありし日の塔に思いを馳せる。はたして幻の8ミリフィルムは現存しているのか。そんなとき彼女は地元のチンピラ・久喜と出会い、ひよんなことから協力してフィルム探しをすることに。若い二人は互いに惹かれあってゆく。

一方、時代を遡ること江戸中期、五重塔の建設に燃える大工十兵衛は、親方や妻お浪の反対を押し切り、自力で塔を作り上げようとしていた。彼を突き動かす想いとはいったい何か？

寺町谷中のドキュメンタリーと、現代と江戸時代を往復するフィクションが渾然一体となり、伝統と創造の意味を問いかける。

ベルリン国際映画祭で絶賛！ 世界で共感を呼んだ、新旧一体の映像詩。

失われし古き伝統と無関心がはびこる現代を対照的に描き出す本作は、ドイツ、イギリス、香港など国際映画祭でも高く評価された。江戸の心意気を残した下町谷中に、現代東京の若者を放り込むとどうなるか？という船橋淳監督のアイデアをもとに、映画・演劇専門学校ENBUゼミナールの俳優コースの卒業制作としてスタート。ドキュメンタリーとフィクションの融合、現代劇と時代劇の往還によるオリジナリティー溢れる映画創造を試み、ついに長編映画として完成した。出演は地元の伝統工芸職人や郷土史家、お寺の墓守などの「谷中びと」と、ENBUゼミナールの学生俳優たち。時代劇パートの原作は幸田露伴『五重塔』。

撮影は『ドッペルゲンガー』『禪』の水口智之。そしてシンガー島山美由紀がエンディングテーマ「This is Good-Bye」を歌う。船橋淳監督は前作『ビッグ・リバー』(主演:オダギリジョー)に続いて、ベルリン国際映画祭ワールドプレミアという快挙を成し遂げた。

2009年第59回ベルリン国際映画祭正式出品 www.deepinthevalley.net



脚本・監督・編集:船橋淳(『echoes エコーズ』『ビッグ・リバー』) / 共同脚本:根岸彩子 / 撮影:水口智之 / 照明:関剛久 / 音楽:ヤニック・ダジンスキー / 出演:野村勇貴、佐藤麻優、加藤勝木、小川三代子 / 製作:ENBUゼミナール、Big River Films
2009年/日本/120分/HD/ハートカラー/1:1.77 配給・宣伝:Big River Films

船橋 淳 映画監督

1974年、大阪府に生まれる。東京大学教養学部表象文化論学科を卒業したのち、ニューヨークのスクール・オブ・ビジュアルアーツで映画を学ぶ。ニューヨーク在住時代に遭遇したアメリカ同時多発テロ事件をきっかけにドキュメンタリーの撮影を始める。2005年、オダギリジョーを主演に迎えた映画『ビッグ・リバー』が公開された。2009年、映画『谷中暮色』を手がける。2012年、白田あさ美主演の『桜並木の満開の下に』が公開された。2012年、東日本大震災における福島第一原発の事故により、町全体が丸ごと移住した福島県双葉町の9ヵ月間に密着したドキュメンタリー映画『フタバから遠く離れて』を監督。2014年には『フタバから遠く離れて 第二部』も監督した。その他の監督作品として、大阪の女性アイドルグループを追ったドキュメンタリー『道頓堀よ、泣かせてくれ! DOCUMENTARY of NMB48』(2015)、18世紀のポルトガル大震災と五輪後の日本が交錯する『ポルトの恋人たち ~時の記憶』(2017)、実在のセクハラ事件をもとにした『ある職場』(2020)がある。

■ Deep in the Valley 谷中暮色 - official home page <http://www.deepinthevalley.net>